

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/04/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

供給不安の蒸し返しで急反発

NY原油先物相場は、1バレル=92.93ドルまで値下がりして2月25日以来の安値を更新した後、107ドル水準まで急反発する荒れた展開になった。週前半は中国で新型コロナウイルスの感染被害が拡大していること、国際エネルギー機関（IEA）が1億2,000万バレルの協調備蓄放出を取りまとめたことなどが嫌気され、前週の軟調地合を引き継ぐ展開になった。しかし、その後は改めて国際需給のひっ迫見通しを織り込む動きが優勢になり、安値から一気に切り返した。

IEAは4月13日に発表した月報で、4月のロシア産の供給量は平均で日量150万バレル減少するのに対して、5月以降は経済制裁や買い控えの影響から300万バレルまで減少幅が拡大するとの見通しを示した。このため、5月以降に需給ひっ迫リスクが一段と強まるとの評価が、改めて買いを誘っている。しかも、欧州連合（EU）は石炭に続いて原油についても禁輸措置の導入を検討しており、近く何等かの禁輸措置が合意されるとの見方も原油相場を大きく押し上げた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月8日時点）は、原油が前週比938万バレル増、ガソリンが365万バレル減、石油精製品が290万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫リスクの織り込み再開、引き続きコロナには要注意

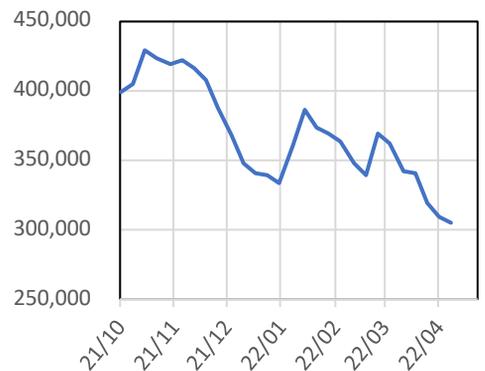
改めて国際需給のひっ迫見通しが強まる中、底固さが再確認される見通し。ロシア政府は原油生産・輸出統計の発表を停止したが、時間の経過とともに輸出環境に対するダメージは拡大する見通し。特にEUはウクライナの戦況激化を受けて原油についても段階的な禁輸措置に踏み切るとの観測が強くなっており、実際に禁輸が発表されると更に吹き上げる可能性がある。3月24日の直近高値116.64ドルを打診するような動きがみられるかが焦点になる。

ウクライナの戦況は依然として厳しく、停戦合意が早期に成立する見通しにはない。ロシア軍の大量虐殺や化学兵器使用の疑惑も浮上する中、西側諸国を中心とした国際世論は一段と厳しい対ロシア政策を求めており、原油需給の混乱状態が長期化するリスクが高まっている。穀物相場なども改めてウクライナ情勢を巡る混乱が長期化するリスクを織り込んでいく。

一方、中国の新型コロナウイルスの感染状況は、引き続き原油需要不安を高めている。IEAも4月月報で2022年の世界石油需要見通しを前月から日量26万バレル引き下げている。経済協力開発機構（OECD）の需要環境についても、従来想定されていたより弱くなっているとの報告も聞かれる。感染被害の拡大から大規模なロックダウンが行われると、需要不安から再び調整売りが膨らむリスクが高まる。

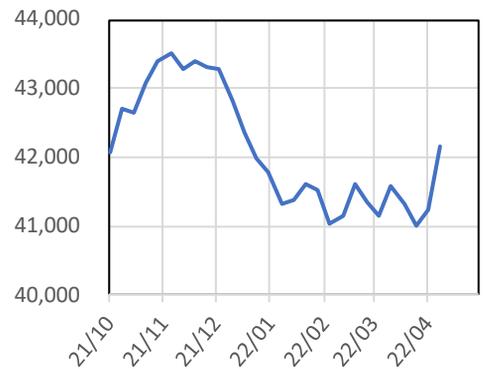
米国では採掘許可申請の件数が増加しているといった報告もあるが、現時点では石油リグ稼働数の緩やかな増加傾向に変化は見られない。シェールオイルの大規模増産が実現するのかは、不透明感が維持されている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



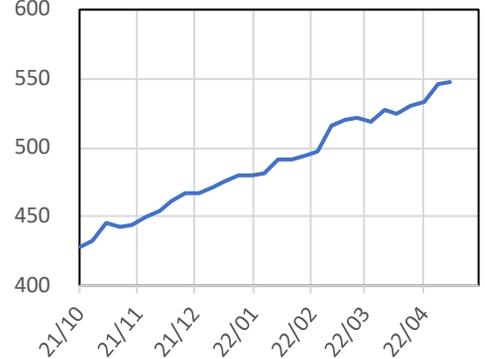
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

